

Intertextile Shanghai「Japan Pavilion」 2017 Autumn Edition

【 開催概要 】

■ Intertextile Shanghai Autumn Edition 2017 開催概要

- ◇ 展示会名： Intertextile Shanghai Apparel Fabrics Autumn Edition 2017
- ◇ 会場： 中国国家会展中心 (National Exhibition and Convention Center (SHANGHAI))
- ◇ 会期： 2017年10月11日(水)～13日(金) 9:00～18:00
- ◇ 主催： Messe Frankfurt (HK) Ltd、中国国際貿易促進委員会紡織行業分会 (CCPIT)
China Textile Information Center (CTIC)
- ◇ 展示会面積： 260,000 m² (2016 実績)
- ◇ 出展者数： 4,553 社 / 29 カ国・地域 (2016 年実績)
- ◇ 入場者数： 73,000 人以上 / 90 カ国・地域 (2016 年実績)
- ◇ 同時開催展： Yarn Expo、PH Value、CHIC 各 Autumn Edition

intertextile
SHANGHAI apparel fabrics



現在の中国は“アパレル製品の供給過剰による流通在庫の増大”や、“市場に一時の勢いが無い”などの声が出る一方、“中国はまだまだ伸ばせる”、“潜在的な成長余力は未だ1番”など、その奥行きに期待する声は依然多い。

日本の繊維製品市場は10兆円を切ったと云われているが、それに対し中国は世界最大の45兆円(米国40兆円)規模を誇り、経済成長率も日本の1%未満に対し、中国は5%以上を維持している。世界中の先進国で洋服が売れなくなっている現在、市場規模の大きさと潜在的な成長率を考えれば、今後も中国市場の重要性は増して行くと考えられる。そんな状況の中、今年も10月11日～13日に世界最大の繊維総合見本市 Intertextile 上海 2017 Autumn Edition が開催される。同展の目玉である国際館は今回も Hall6.2 に設置され、Milano Unica (イタリア)、イギリス、ドイツ、ポルトガル、フランス、トルコ等の『サロン・ヨーロッパ』を構成する欧州各国の Pavilion と、規模の点では欧州を遥に上回る韓国、台湾、日本の他、香港やタイ等のアジア勢の Pavilion が集結する。更に、近年動員力を増している『プレミアム・ウール・ゾーン』や、プリント图案の『デザイン・スタジオ』が配置される予定。

◆ 『Japan Pavilion』 開催概要

- ◇ 出展場所： 国際館内 (Hall.6.2)
- ◇ 出展内容： ビジネスコーナー + ジャパン・トレンドコーナー
- ◇ 出展規模： 30 件 / 約 100 小間 (900 m²)
- ◇ 主催： 一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構 (JFW)



◇ 後援（予定）： 経済産業省 独立行政法人日本貿易振興機構

出展企業：

旭化成(株)、(株)アタゴ、宇仁繊維(株)、エス・アール商事(株)/東亜合成(株)、熊澤商事(株)、(株)クroppオザキ、ゴード EMB(株)、
コスモテキスタイル(株)、(株)コッカ、齋栄織物(株)、(株)サンウエル、 (株)サンファッショ、柴屋(株)、双日ファッショ(株)、
第一織物(株)、瀧定名古屋(株)、田村駒(株)、(株)チクマインターナショナル、* 蝶理(株)、帝人フロンティア(株)、
同興商事株式会社/函客喜貿易（上海）有限公司、豊島(株)、日鉄住金物産(株)、* (株)パレモ、前多(株)、
村田機械(株)、* モナ・ニット(株)、モリリン(株)、(株)ルシアン、* 和歌山ニット工業組合(株)森下メリヤス工場/
吉田染工(株)/貴志川工業(株)/フジボウテキスタイル(株) > / JFW（*新規出展）



* 写真は Intertextile shanghai 「Japan Pavilion」2017 Spring Edition より